

注意事項

- ※各奨学金の出願条件を満たすと同時に、人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難な者が出願対象者となります。
- ※このページで募集している奨学金は、特に記載がないものを除き、留学生は出願対象となりません。留学生は所属部局の留学生担当窓口にお問い合わせください。
- ※出願希望者は、内部選考用願書・希望団体選択票・所得関係書類・成績証明書・（該当者のみ控除関係証明書類）を、各回の申込締切日までに本部奨学厚生課奨学チームに提出してください。
- ※各回申込締切後、奨学金それぞれの申込者の中から家計収入や成績状況等により内部選考を行い、推薦候補者を決定します。
内部選考の結果は、申込締切日から1週間以内に選考通過者（推薦候補者）にのみ通知します。
通過しなかった者には連絡しません。
- ※選考結果通知の後、推薦候補者には各団体専用の願書等を交付し、出願書類の準備をしていただきます。
その際、指導教員による推薦書作成や健康診断書の提出が必要になることがございます。
（健康診断書の提出については学内の健康診断日程に応じて期日を設けます。）
- ※他の奨学金受給を認めない奨学金の受給者が、万が一他の奨学金に採用された場合、どちらか一方の奨学金を辞退することとなります。

内部選考を行う奨学金について(第1回)

掲 載 日:2022年2月25日(金) ~ 申込締切日:2022年3月25日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課(民間奨学金担当) ※必要書類は郵送でご提出ください。

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2022年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額	推薦人数
公益財団法人 尚志社 (一般)	<p>〈課 程〉 修士、博士、6年制課程の学部 (専門職は除く)</p> <p>〈学部/研究科〉 不問</p> <p>〈学 年〉 修士1年または博士1年、6年制課程学部の場合は4年または5年</p> <p>〈国籍等〉 日本人</p> <p>〈その他〉(1) 学部・修士の場合は所属学部学科の上位10%以内の成績。 博士の場合は大学および大学院における成績が特に優れていること。 (2) 2022年4月2日時点で学部4年生は26歳未満、学部5年生は27歳未満、 修士1年生は30歳未満、博士1年生は35歳未満であること。 (3) 内部選考に通過した場合に、6月18日にオンラインで行われる財団の面接選考会に必ず出席できること。 (面接選考会は日程変更の可能性あり)</p> <p>(4) 受給期間中、財団が定期的の実施する社友懇話会(年1回)に出席すること。 受給終了後も出来るだけ出席すること。 また、受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)、機関誌「尚志」に寄稿すること。</p> <p>(5) 家計基準の目安は、日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準「収入・所得の上限額の目安」を上回らないことが望ましいが、必須ではない。 本人(配偶者含む)に定職収入がある場合は家計基準の判断にそれを含める。 家族の年収合計が1500万円を超える場合は、原則応募不可。</p> <p>(6)4月25日までに健康診断結果証明書の提出が可能な者。 (期日までに今年度分の提出が困難な場合は、4月25日までに昨年度実施分を提出し、6月中旬までに今年度実施分を提出すること。)</p> <p>※社会人経験がある場合は採用順位が低くなります。また、一定の収入がある社会人大学院生は応募不可です。 ※内部選考に通過した場合、指導教員による推薦書の作成が必要です。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最大3年間)</p> <p>※学部生で修学支援新制度(授業料減免および給付奨学金)に申し込んでいる場合は、当団体奨学金採用後、就学支援新制度の給付奨学金停止手続きをすみやかに行うこと。当団体の奨学金は、給付奨学金の停止手続き完了後分より支給となります。</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構の貸与奨学金は可。</p> <p>※修学支援新制度採用者の場合、本奨学金支給には給付奨学金の停止が必要。</p> <p>※日本学術振興会の特別研究員や博士課程教育リーディングプログラム等は、併願可だが併給不可。</p>	<p>給付</p> <p>[自宅] 学部4年 30,000円 学部5年 ・修士 40,000円 博士 50,000円</p> <p>[自宅外] 学部4年 50,000円 学部5年 ・修士 60,000円 博士 70,000円</p> <p>+ 全学年 学校納付金 実費(上限 100万円)</p> <p>+ 修士・博士 入学金実費 (上限30万 円)</p>	2

<p>公益財団法人 尚志社 (文系学部限定)</p>	<p>〈課程〉学部 〈学部〉文系学部 〈学年〉3年 〈国籍等〉日本人 〈その他〉(1) 所属学部学科の上位10%以内の成績。 (2) 2022年4月2日時点で25歳未満 (3) 内部選考に通過した場合に、<u>6月18日にオンラインで行われる財団の面接選考会に必ず出席できること。</u> (面接選考会は日程変更の可能性あり) (4) 受給期間中、財団が定期的実施する社友懇話会(年1回)に出席すること。 受給終了後も出来るだけ出席すること。 また、受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)、機関誌「尚志」に寄稿すること。 (5) 家計基準の目安は、日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準「収入・所得の上限額の目安」を上回らないことが望ましいが、必須ではない。 本人(配偶者含む)に定職収入がある場合は家計基準の判断にそれを含める。 家族の年収合計が1500万円を超える場合は、原則応募不可。 (6) 4月25日までに健康診断結果証明書の提出が可能な者。 (期日までに今年度分の提出が困難な場合は、4月25日までに昨年度実施分を提出し、6月中旬までに今年度実施分を提出すること。)</p> <p>※社会人経験がある場合は採用順位が低くなります。また、一定の収入がある社会人大学院生は応募不可です。 ※内部選考に通過した場合、財団への出願書類として指導教員による推薦書(A4一枚)の提出が必要です。指導教員に作成いただける方のみ申請してください。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最大2年間)</p> <p>※修学支援新制度(授業料減免および給付奨学金)に申し込んでいる場合は、当団体奨学金採用後、給付奨学金の停止手続きをすみやかに行うこと。当団体の奨学金は、給付奨学金の停止手続き完了後分より支給となります。</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構の貸与奨学金は可。</p> <p>※修学支援新制度採用者の場合、本奨学金支給には給付奨学金の停止が必要。</p>	<p>給付</p>	<p>[自宅] 30,000円</p> <p>[自宅外] 50,000円</p> <p>+ 学校納付金 実費(上限 100万円)</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 フジシール財団</p>	<p>〈課程/学年〉学部3年、修士1年 〈学部/研究科〉不問 〈分野〉<u>パッケージ関連分野を専攻する者</u> (化学、機械、電気電子、パッケージデザイン、リベラルアーツ、マーケティングなど。 詳細は財団HPを参照のこと https://www.fujiseal.or.jp/business/scholarship.html)</p> <p>〈国籍等〉日本国籍、永住者、定住者の学生。 ほかに、留学生の推薦枠については国際支援課にて募集を行います。 希望者は所属研究科の留学生担当、または国際支援課へお問い合わせください。</p> <p>〈その他〉(1) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者。 (2) 商品パッケージの研究開発に興味・関心のある者。 (3) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、パッケージに係るA4用紙2枚のレポート提出が必要になります。 ※奨学生は財団が開催する認定式及び研修会への出席義務があるほか、年4回程度のレポートや制作物の提出義務があります。</p> <p>〈支給期間〉奨学生採用～正規の最短修業年限まで ※但し、各学年の進級時に応募資格に沿ってレポート提出による適性審査を行い、継続可否を決定する。</p>	<p>貸与型は可 給付型は不可</p> <p>※但し、以下は併給可。 ・修学支援新制度の給付奨学金、海外留学支援の奨学金、授業料減免</p>	<p>給付</p>	<p>学部 50,000円</p> <p>修士 60,000円</p>	<p>学部 2</p> <p>修士 1</p>

<p>公益財団法人 浦上奨学会</p>	<p>〈課程〉修士、博士 〈学年〉上記課程に2022年4月に入学する者 〈研究科〉不問 〈国籍等〉広島県出身者 〈その他〉(1) 経済的支援を必要とする者。(日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準を目安とする) (2) 学業、人物とも優秀で心身ともに健康な者。 〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>貸与型は可 給付型は不可 ※但し、当会以外の 海外留学奨学金は 併給可。</p>	<p>給付</p>	<p>40,000円</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 日本証券奨学財団</p>	<p>〈課程〉修士、博士、専門職 〈研究科〉不問 〈学年〉1年 〈国籍等〉不問 〈その他〉(1)「<u>将来社会の各分野において指導的役割を担う志</u>」のある資質優秀な者。 (3) 2022年4月1日現在、修士・専門職学位課程で25歳以下の者、または博士課程で28歳以下の者。 (3) <u>他の奨学金を受給予定・応募予定でない者。</u> (4) 内部選考を通過し推薦者となった場合に 5月中旬～6月上旬に都内で実施予定の財団の面接選考に出席できる者。 (5) 下記の財団が実施する各種行事に必ず出席できる者。 (7月8日奨学金授与式、10月懇談会、10～12月奨学生の集い、修了年度3月上旬修了式) (6) 受給終了後、奨学生出身者を会員とする証券奨学同友会に加入し、 勤務先や居所変更の報告を欠かさず行うことができる者。 ※内部選考に通過した場合、短期間(2週間弱)で財団提出書類をご用意いただくこととなります。指導教員の先生に 作成いただく推薦所見等も財団提出書類に含みますので予めご了承ください。 ※推薦者に対し財団は面接選考による厳格な審査を行います。 ※学業及び研究遂行以外の目的での奨学金の使用は許されません。(自宅外通学者は1万円を上限に住宅費に充当 可能) 〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可 ※但し、 日本学生支援機構 の貸与型奨学金は 併給可 ※他の奨学金を受 給予定または応募 予定の者は応募で きません。</p>	<p>給付</p>	<p>自宅外 55,000円 自宅 45,000円 ※通学区分 変更時は奨 学金額の見 直しあり。</p>	<p>1</p>